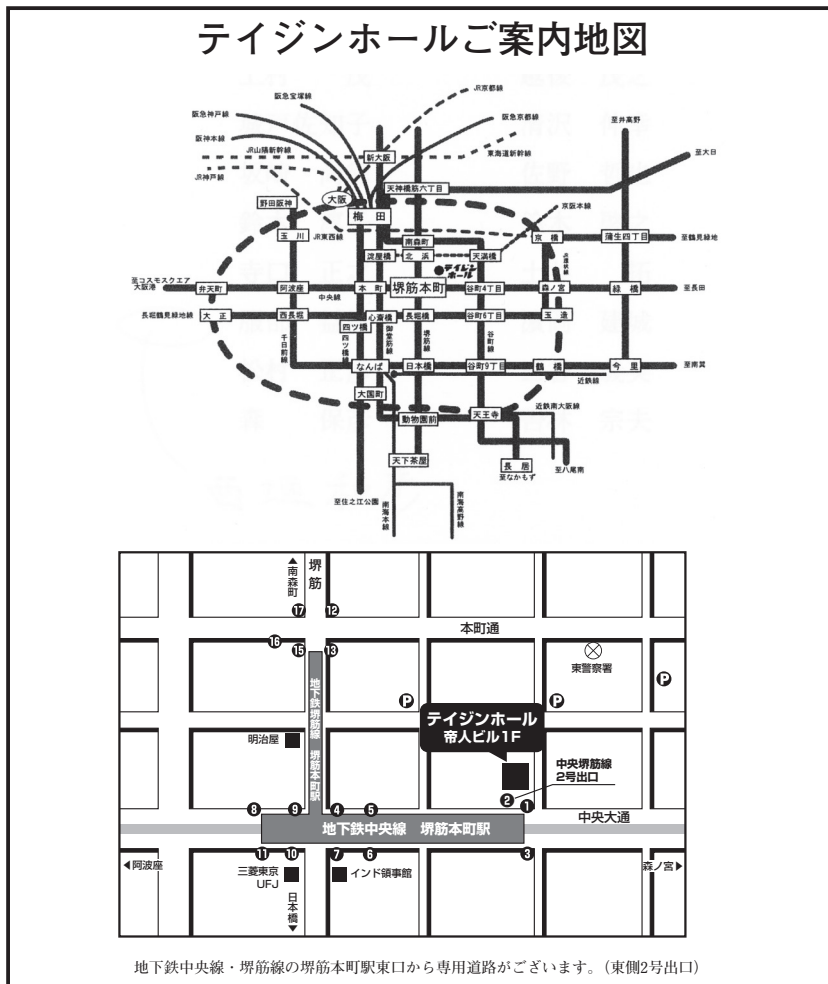


第40回 近畿川崎病研究会

日 時：2016年2月27日(土)
12:50~18:15

会 場：テイジンホール
大阪府中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第40回 会長

城戸佐知子

運営委員長

濱岡 建城

運営委員

小澤誠一郎	片山 博視	萱谷 太	城戸佐知子
小垣 滋豊	小林 奈歩	米田 正始	坂崎 尚徳
佐野 哲也	清水 達雄	白石 淳	鈴木 啓之
宗村 純平	津田 悦子	寺口 正之	土井 拓
中川 雅生	服部 益治	馬場 志郎	濱岡 建城
廣田 常夫	松村 正彦	丸谷 怜	三谷 義英
三宅 俊治	村上 洋介	山川 勝	吉澤 弘行
吉林 宗夫	吉村 健		

特別顧問

川崎 富作

顧問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

名誉会員

上村 茂	川島 康生	鈴木 淳子	田村 時緒
森 忠三	清澤 伸幸	篠原 徹	荻野廣太郎

事務局 京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後 12 時 50 分です
- (2) 参加費は 1,000 円です
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は 3,000 円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、4 単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8 単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC, iPad などでの講演はできません。
- (2) 一般演題 発表 6 分・討論 4 分
シンポジウム 発表 8 分・討論 4 分
- (3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ（ご発表データのみを保存）をホール 1 階「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。
- (4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。
 - ・会場で用意するコネクタの形状は D-sub15 ピンのみです。
 - ・AC アダプターは必ずお持ちください。
- (5) ご発表データは、Windows、Machintosh ともに Power Point で作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。
 - Windows : X P、Vista、Win-7、Win-8
 - Machintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
 - Windows : PowerPoint 2003、2007、2010、2013 に対応
 - Machintosh : PowerPoint 2004、2008、2011 に対応
- (8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名：14 近畿. ppt
- (10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。
- (11) 講演内容は、Progress in Medicine 7 月号（ライフ・サイエンス）に記録として掲載いたします。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします。

【執筆要領】 400 字原稿用紙で 12 枚以内（図表は別）

【原稿〆切】 2016 年 5 月初旬（予定）

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 奥畑 現

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

Tel 03-3407-8963

【開会の挨拶】

12:50 ～ 12:55

第 40 回会長 城戸佐知子（兵庫県立こども病院 循環器内科）

【セッション I】

12:55 ～ 13:35

座長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院 小児科）

1. 遠隔期川崎病冠動脈病変のデュアルエネルギーCTによる評価

近畿大学医学部 小児科学教室

草野信義 丸谷 怜 篠原 徹 竹村 司

2. 川崎病冠動脈障害における心磁図と 12 誘導心電図の比較

高知大学医学部 小児思春期医学

玉城 渉

国立循環器病研究センター 小児循環器科

津田悦子 白石 公

国立循環器病研究センター 生理検査室

橋本修二

3. 動脈硬化を伴った川崎病冠動脈後遺症の再狭窄病変に対して Rotabla
施行後 drug-coated balloon による拡張を追加した一例

京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科

白石 淳 松原勇樹 柳内 隆 志熊 明 庄司圭佑

西川真理恵 伊藤大輔 木村雅喜 木下英吾 中川裕介

兵庫匡幸 沢田尚久 河野義雄

京都第一赤十字病院 健診部

島 孝友

4. 川崎病冠動脈病変に対して da Vinci Surgical System を用いて内胸動脈採取し、MIDCAB 施行した 2 例

国立循環器病研究センター 心臓血管外科

松本順彦 藤田知之 秦 広樹 島原佑介 久米悠太
北村惣一郎 小林順二郎

国立循環器病研究センター 小児循環器科

津田悦子

【セッションⅡ】

13 : 35 ~ 14 : 25

座長 土井 拓 (天理よろづ相談所病院 小児科)

5. 京都地区におけるステロイド初期併用療法の効果検証

京都府立医科大学大学院医学研究科 小児循環器・腎臓学

池田和幸 鈴木千夏 八幡倫代 吉岡綾子 朽津有紀
岡本亜希子 濱岡建城

京都第一赤十字病院 小児科

小澤誠一郎

田辺中央病院 小児科

松尾憲典

市立福知山市民病院 小児科

足立晋介

京都山城総合医療センター 小児科

内藤岳史

6. 当院における川崎病に対するウリナスタチン大量療法の成績 第 2 報 (2011~2015)

加古川東市民病院 小児科

井上真太郎 三舛信一郎 谷中好子 佐々木香織

7. 川崎病におけるウリナスタチンを加えたステロイド初期併用療法の経験

近畿大学医学部奈良病院 小児科

一木美穂 三宅俊治 丸谷 怜 近藤宏樹 伊豆亜加音
虫明聡太郎

8. Infliximab による副作用と考えられた当施設における川崎病 4 症例の報告

香川県立中央病院 小児科

岡本吉生 小林光郎 森田啓督 佐藤 潤 伊藤 滋

9. IVIG・ステロイド早期併用療法に不応で血漿交換療法を要した 16 症例の臨床経過の検討

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

高原賢守 河内晋平 山上雄司 菅 健敬

【セッションⅢ】

14:25 ～ 15:05

座長 宗村純平 (滋賀医科大学医学部附属病院 小児科)

10. 股関節炎を合併し血漿交換療法を要した川崎病の 1 例

広島市立広島市民病院 循環器小児科

岡田清吾 鎌田政博 中川直美 石口由希子 森藤祐次
松扉真祐子 岡本健吾

山口大学大学院医学系研究科 小児科学分野

長谷川俊史 若林みどり 大賀正一

11. 川崎病再燃により冠動脈瘤を形成した 8 ヶ月男児の 1 例

大津赤十字病院 小児科

西角元一 美馬隆宏 神鳥達哉 関屋朱音 中森いづみ
石塚 潤 常念大輔 赤杉和宏 木村暢佑 今井 剛
樋口嘉久 廣田常夫

12. 難治性川崎病との鑑別に難渋し、トシリズマブが著効した全身型若年性特発性関節炎の一例

九州大学病院 小児科

鵜池 清 山村健一郎 豊村大亮 川口直樹 村岡 衛
寺師英子 中島康貴 平田悠一郎 森鼻栄治 高田英俊

13. 川崎病冠動脈病変の疑いが契機となり発見された右冠動脈右室瘻の一例

和歌山県立医科大学 小児科

垣本信幸 末永智浩 武内 崇 鈴木啓之

紀南病院 小児科

洪田昌一

橋本市民病院 小児科

立花伸也

公立那賀病院 小児科

竹腰信人

日本赤十字社 和歌山医療センター 小児科

横山宏司 原 茂登 吉田 晃

コーヒーブレイク 15:05 ～ 15:35

&

ハンズオンセミナー 「冠動脈エコーの実際」
NTT 東日本札幌病院 小児科 布施茂登 先生

事務局報告 15:35 ～ 15:40

運営委員長 濱岡建城 (京都府立医科大学 小児循環器・腎臓病学)

【特別講演】

15:40 ～ 16:25

座長 城戸佐知子（兵庫県立こども病院 循環器内科）

「冠動脈エコーの注意点と川崎病以外の冠動脈疾患」

NTT 東日本札幌病院 小児科 布施茂登 先生

【セッションⅣ】

16:25 ～ 17:15

座長 三宅俊治（近畿大学医学部奈良病院 小児科）

14. マイコプラズマ肺炎の経過中に高サイトカイン血症が示唆され川崎病に至った同胞例

明石医療センター 小児科

岡本光宏 藤井順子 権東雅宏 横山直樹 吉川徳茂

15. マイコプラズマ肺炎の経過中に発症し、巨大冠動脈瘤を合併した不全型川崎病の1例

滋賀医科大学医学部附属病院 小児科

大島理利 宗村純平 佐藤知実 星野真介 古川央樹
竹内義博

16. 冠動脈瘤破裂により死亡した川崎病の一乳児例

兵庫県立こども病院 循環器内科

上村和也 富永健太 祖父江俊樹 三木康暢 亀井直哉
小川禎治 藤田秀樹 田中敏克 城戸佐知子

兵庫県立こども病院 リウマチ科

中岸保夫

兵庫県立こども病院 心臓血管外科

大嶋義博

17. 当院で治療した川崎病年長発症例の臨床的検討

京都第二赤十字病院 小児科

小林奈歩 木村 学 清沢伸幸 加藤大吾 松岡太朗
井上 聡 河辺泰宏 東道公人 藤井法子 大前禎毅
長村敏生

18. 過去の川崎病流行時と最近の患者増加時の患者年齢分布の特徴的な差異〈川崎病発病契機の疫学的アプローチ〉

兵庫県予防医学協会健診センター

富田安彦 山浦泰子 島屋真希 高橋かおる 南部征喜

【ミニシンポジウム】 17:15 ～ 18:05

「regression 症例の遠隔期管理」

座長 鈴木啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

19. regression 症例の中遠隔期冠動脈の成長に関する検討

神戸市立医療センター中央市民病院

新井千恵

20. 川崎病による冠動脈瘤退縮後遠隔期に出現した狭窄性病変

国立循環器病研究センター 小児循環器科

津田悦子

21. Regression した冠動脈瘤の関与が示唆された成人期の虚血性心疾患
-循環器内科医はいかに対応すべきか-

京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科

白石 淳

22. 川崎病冠動脈瘤 Regression 例の成人期の予後:ACS 例、OCT 施行例から

三重大学 小児科

三谷義英

【閉会の挨拶】

18:05 ～ 18:15

第 40 回会長 城戸佐知子（兵庫県立こども病院 循環器内科）

第 41 回会長 三宅俊治（近畿大学医学部奈良病院 小児科）

帝人ファーマ株式会社

近畿川崎病研究会会則

2014年11月改訂

1. 名称

近畿川崎病研究会 (The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research) と称す。

2. 目的

川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。

3. 事業

- 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。
- 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。

4. 運営委員会

- 1) 本会に次の役員を置く。
 - ①運営委員長 1名
 - ②運営委員 若干名
 - ③会計 1名
 - ④監事 1名
 - ⑤名誉会員
 - ⑥顧問
 - ⑦特別顧問
- 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
- 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任を妨げない。
- 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末(3月)をもって退任とする。
- 5) 年会費を3年間滞納した場合は、継続の意思がないとみなし退任とする。運営委員会・研究会に3年連続欠席の場合は、継続の意思の確認をもって退任とする。
- 6) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
- 7) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
- 8) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
- 9) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
- 10) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
- 11) 名誉会員は運営委員長が運営委員会に諮り推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
- 12) 顧問は運営委員長が運営委員会に諮り名誉会員の中から会の運営上必要と認められた者とし、運営委員会に出席できる。
- 13) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。

5. 会員

- 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
- 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。

6. 学術集会の発表者の制限

学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。

7. 会計

- 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。
- 3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。

8. 会則の変更

本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。

9. 事務局

本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。

京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路ル梶井町465

新時代の医薬を考える 帝人ファーマ

一人ひとりのQuality of Lifeの向上。それが帝人ファーマの使命です。

主要取扱い商品

薬価基準収載

骨・関節

劇薬・処方箋医薬品[※]
骨粗鬆症治療剤
〔アレンドロン酸ナトリウム水和物注射液〕
ボナロン[®] 点滴静注パック900 μ g

劇薬・処方箋医薬品[※]
骨粗鬆症治療剤
日本薬局方 アレンドロン酸ナトリウム錠
ボナロン[®] 錠35mg

劇薬
活性型ビタミンD₃製剤
ワンアルファ[®]
〔アルファカルシドール製剤〕

劇薬・処方箋医薬品[※]
骨粗鬆症治療剤
〔アレンドロン酸ナトリウム水和物経口ゼリー剤〕
ボナロン[®] 経口ゼリー35mg

劇薬・処方箋医薬品[※]
骨粗鬆症治療剤
日本薬局方 アレンドロン酸ナトリウム錠
ボナロン[®] 錠5mg

処方箋医薬品[※]
ヒアルロン酸ナトリウム架橋体製剤
サイビスグテイスボ[®] 関節注2mL
〔ヒアルロン酸ナトリウム架橋処理ポリマー及びヒアルロン酸ナトリウム架橋処理ポリマー-ヒニルホルン架橋体 関節内注射剤〕
商標 サイビスグテイスボ[®]/synvisc[®] is the registered trademark of Genzyme Corporation.



呼吸器

処方箋医薬品[※]
吸入ステロイド喘息治療剤
オルベスコ[®]
〔シクレソニド吸入剤〕

持続性気管支拡張剤・腹圧性尿失禁治療剤
スピロペント[®] 錠10 μ g 顆粒0.002%
〔クレムテロール塩酸塩製剤〕

徐放性気道潤滑去痰剤
ムコソルバン[®] Lカプセル45mg 錠45mg
〔アンプロキシール塩酸塩製剤〕

気道潤滑去痰剤
ムコソルバン[®] 錠15mg 内服液0.75% DS3% 小児用ムコソルバン[®] DS1.5% 内服液0.3%
〔アンプロキシール塩酸塩製剤〕



血液

処方箋医薬品[※]・特定生物由来製品
血漿分画製剤・静注用免疫グロブリン製剤 **献血**
献血ベニロン-I[®] 静注用 500mg, 1000mg, 2500mg, 5000mg
〔乾燥スルホ化人免疫グロブリン〕
生物学的製剤基準



代謝・循環器

処方箋医薬品[※]
非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤
高尿酸血症治療剤
フェブリク[®] 錠 10mg, 20mg, 40mg
〔フェブキソスタット製剤〕

劇薬・処方箋医薬品[※]
持続性ソマトスタチンアナログ徐放性製剤
ソマチュリン[®] 皮下注 60mg, 90mg, 120mg
〔ランレオチド酢酸塩徐放性製剤〕
商標 ソマチュリン/Somatiline[®] is the registered trademark of Ipsen Pharma, Paris, France.

処方箋医薬品[※]
高脂血症治療剤
トライコア[®] 錠 53.3mg, 80mg
〔フェノフィブラート錠〕

pH依存崩壊型EPA製剤
ソルミラン[®] 顆粒状カプセル600mg 顆粒状カプセル900mg
〔イコサペント酸エチル・顆粒状カプセル剤〕



その他

緩下剤：錠
ラキソベロン[®] 錠2.5mg
〔ピコスルファートナトリウム水和物製剤〕

劇薬・処方箋医薬品[※]
活性型VD₃角化症治療剤
日本薬局方 タカルシトール軟膏
日本薬局方 タカルシトールローション
ボンアルファ[®] 軟膏2 μ g/g, クリーム2 μ g/g, ローション2 μ g/g
〔タカルシトール水和物製剤〕

滴剤型緩下剤・大腸検査前処置用下剤：液
ラキソベロン[®] 内服液0.75%
〔ピコスルファートナトリウム水和物製剤〕

劇薬・処方箋医薬品[※]
活性型VD₃尋常性乾癬治療剤
日本薬局方 タカルシトール軟膏
日本薬局方 タカルシトールローション
ボンアルファ[®] ハイ軟膏20 μ g/g, ハイローション20 μ g/g
〔タカルシトール水和物製剤〕



注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
【資料請求先】学術情報部 ☎ 0120-189-315